

## 「帝京科学大学教育・教職研究」執筆要領

(研究論文・研究ノート・報告)

### I. 原稿について

原稿は、ワードや一太郎等で作成する。A4 版用紙を使用し、余白:上下 25mm, 左右 20mm 45 文字×45 行とする。本文部分は、横 24 字、縦 45 行の 2 段組みとする。投稿する場合は、本文を記録した図表を含めたファイルと査読のため著者名、所属機関の日英両語、付記及び謝辞を削除したファイル提出をする。

なお、原稿の作成にあたっては、「帝京科学大学教育・教職研究テンプレート」を用いること。

また、各投稿論文の頁数は、図表、写真等も含め、研究論文 12 頁以内、研究ノート 8 頁以内、報告 8 頁以内とする。

### II. 本文について

次のように書くことが望ましい。

#### 1. はじめに (序論)

研究の背景、関連する先行研究、研究の目的・意義などについて記述する。

#### 2. 方法

調査方法、実験方法などを記述する。

#### 3. 結果

2 の方法に基づいて得られたデータを基にした分析結果等を、図表を用いて説明する。

#### 4. 考察

3 で得られた分析結果からの知見や先行研究との比較等を記述する。

#### 5. まとめ (結論)

本研究で得られた結論や成果、今後の課題などを簡潔に記述する。

#### 6. 付記

すでに、口頭発表等で発表したものを発展・加筆して投稿する場合は、元となる文献を参考文献リストに掲載すると共に、「本論文は、帝京 (2015) で発表した研究を発展させて、その成果をまとめたものである。」などを記述する。

#### 7. 謝辞

協力いただいた方に対する謝辞を記述する。

### III. 参考文献の書式

#### 1. 本文中

文末に記述するときは (千住, 1991a) のように、() 内に、著者名、発表年発表順アルファベットを記述する。文頭、または文中に記述するときは、「千住 (1991a) によれば」

のように、著者名（発表年発表順アルファベット）を記述する。特に必要とする場合は引用ページとする（千住，1991b，p.15）。

## 2. 参考文献の一覧

参考文献は、和文と欧文を区別しないで、著者（共著の場合は先頭の著者）の姓の欧文表記に基づいて、アルファベット順に配列する。なお、同一著者による論文が二つ以上ある時は、論文を発表年代順に配列する。複数行になるときは2行目以降1文字分字下げをする。

## IV. 投稿手続き

原稿は、「本執筆要項」及び「帝京科学大学教育・教職研究テンプレート」に従って執筆し、「投稿責任者」が、下記の電子ファイルを添付し、帝京科学大学教育・教職研究編集委員会事務局（kyousyoku-kiyo@ntu.ac.jp）あてに、電子メールにて投稿をする。

- ・帝京科学大学教育・教職研究投稿申請用紙に必要事項を記入した電子ファイル
- ・原稿オリジナル（本文，図，表，写真，英題名を含む電子ファイル）
- ・原稿オリジナルから査読のため著者名，所属機関の日英両語，付記及び謝辞を削除した電子ファイル

なお、電子メールでの投稿が困難な場合は、上記の電子ファイルを保存したメディアを帝京科学大学教育・教職研究編集委員会事務局に提出する。

## V. 投稿時の確認

投稿者には、次の条件を満たしていることを確認することを求める。

- ・投稿論文等の内容が、国内，国外の学会誌，機関誌（大学紀要を含む），書籍，国際会議の口頭発表論文（Proceedings 論文）が会議後に査読されて発行される論文誌，商業誌等に掲載済み，掲載予定，あるいは上記に投稿中や投稿予定でないこと。
- ・投稿内容に関連する内容が，同一著者あるいは他者によって既に掲載されている場合は，それとの関係と違いを明確に説明してあること。
- ・研究会，大会等の学術講演，国際会議等において配布される論文集や口頭で発表したものを翻訳・加筆して投稿する場合は付記してあること。
- ・論文の内容と記述が，他者の著作権や研究に関わる者の人権を侵害せず，研究者の行動規範に反しないよう，十分に配慮されていること。

### （卒業論文要約）

原稿は、ワードや一太郎等で作成する。A4 版用紙を使用し、余白：上下 25mm，左右 20mm 45 文字×45 行とする。本文部分は、横 45 字，縦 45 行の 1 段組みとする。原稿は、「本執筆要項」及び「帝京科学大学教育・教職研究テンプレート」に従って執筆する。